

注

第1章 子ども時代

養子縁組：ステイーブ・ジョブズ、ローリーン・パウエル、モナ・シンプソン、デル・ヨーカム、グレッグ・カルホーン、クリスアン・ブレナン、アンディ・ハーツフェルドへのインタビュー。モリッツ (44-45)。ヤング (16-17)。ジョブズ、スミソニアン・オーラル・ヒストリー。ジョブズ、スタンフォード大学卒業式におけるスピーチ。Andy Behrendt, “Apple Computer Mogul’s Roots Tied to Green Bay”, Green Bay Press Gazette (2005年12月4日)。Georgina Dickinson, “Dad Waits for Jobs to iPhone”, New York PostおよびThe Sun (ロンドン) (2011年8月27日)。Mohannad Al-Haj Ali, “Steve Jobs Has Roots in Syria”, Al Hayat (2011年1月16日)。Ulf Froitzeim, “Portrait Steve Jobs”, Unternehmen (2007年11月26日)。

シリコンバレー：ステイーブ・ジョブズ、ローリーン・パウエルへのインタビュー。ジョブズ、スミソニアン・オーラル・ヒストリー。モリッツ (46)。Berlin (155-177)。マローン (21-22)。

飛び級して中学へ、アルバイトとマリファナ：ステイーブ・ジョブズへのインタビュー。ジョブズ、スミソニアン・オーラル・ヒストリー。スカリー (166)。マローン (11, 28, 72)。ヤング (25, 34-35)。ヤングとサイモン (18)。モリッツ (48, 73-74)。ジョブズ家の住所はもともとクリストドライブ11161番地だったが、この地域が郡から町に併合された際に変更となった。ジョブズがアルバイトをしたのはハルテクのほかにもう1カ所、ホールテッドがあったともされている。しかしジョブズ本人は、ハルテクでしか働いた記憶がないと答えている。

第2章 おかしなふたり

もうひとりの天才・ウォズ：ステイーブ・ウォズニアック、ステイーブ・ジョブズへのインタビュー。ウォズニアック (12-16, 22, 50-61, 86-91)。レヴィ、『ハッカーズ』(245)。モリッツ (62-64)。ヤング (28)。ジョブズ、マックワールドにおける講演 (2007年1月17日)。

ブルーボックスの貴重な体験：ステイーブ・ジョブズ、ステイーブ・ウォズニアックへのインタビュー。ロン・ローゼンボウム, “Secrets of the Little Blue Box”, エスクァイア誌 (1971年10月)。ウォズニアックの回答, woz.org/letters/general/03.html。ウォズニアック (98-115)。モリッツ (78-86)。ヤング (42-45)。マローン (30-35) では若干異なる話になっている。

第3章 ドロップアウト

はじめのガールフレンド、クリスアン・ブレナン：クリスアン・ブレナン、ステ

イーブ・ジョブズ、ステイーブ・ウォズニアック、ティム・ブラウンへのインタビュー。モリッツ (75-77)。ヤング (41)。マローン (39)。

リード・カレッジに進学：ステイーブ・ジョブズ、ダン・コトケ、エリザベス・ホームズへのインタビュー。フライバーガーとスワイン (208)。モリッツ (94-100)。ヤング (55)。“The Updated Book of Jobs”、タイム誌 (1983年1月3日)。

最初のカリスマ、ロバート・フリードランド：ステイーブ・ジョブズ、ダン・コトケ、エリザベス・ホームズへのインタビュー。フリードランドとも2010年9月にニューヨークで会い、彼に関する情報とジョブズとの関係についてもたずねたが、引用は断られた。McNish (11-17)。Jennifer Wells, “Canada’s Next Billionaire”、Maclean’s (1996年6月3日)。Richard Read, “Financier’s Saga of Risk”、Mines and Communities (2005年10月16日)。Jennifer Hunter, “But What Would His Guru Say?”、(トロント) Globe and Mail (1988年3月18日)。モリッツ (96、109)。ヤング (56)。

ドロップアウト：ステイーブ・ジョブズ、ステイーブ・ウォズニアック。ジョブズ、スタンフォード大学卒業式におけるスピーチ。モリッツ (97)。

第4章 アタリとインド

アタリにもぐり込む：ステイーブ・ジョブズ、アル・アルコーン、ノーラン・ブッシュネル、ロン・ウェインへのインタビュー。モリッツ (103-104)。

インド放浪：ダン・コトケ、ステイーブ・ジョブズ、アル・アルコーン、ラリー・ブリリアントへのインタビュー。

自分を探す旅：ステイーブ・ジョブズ、ダン・コトケ、エリザベス・ホームズ、グレッグ・カルホーンへのインタビュー。ヤング (72)。ヤングとサイモン (31-32)。モリッツ (107)。

ブレイクアウト：ノーラン・ブッシュネル、アル・アルコーン、ステイーブ・ウォズニアック、ロン・ウェイン、アンディ・ハーツフェルドへのインタビュー。ウォズニアック (144-149)。ヤング (88)。リンツメイヤー (4)。

第5章 アップル I

愛すべきマシンたち：ステイーブ・ジョブズ、ボノ、スチュアート・ブランドへのインタビュー。マルコフ (xii)。スチュアート・ブランド、“We Owe It All to the Hippies”、タイム誌 (1995年3月1日)。ジョブズ、スタンフォード大学卒業式におけるスピーチ。Fred Turner, “From Counterculture to Cyberculture” (University of Chicago Press, 2006年)。

ホームブリュー・コンピュータ・クラブ：ステイーブ・ジョブズ、ステイーブ・ウォズニアックへのインタビュー。ウォズニアック (152-172)。フライバーガーとスワイン (99)。リンツメイヤー (5)。モリッツ (144)。ステイーブ・ウォズニアック、“Homebrew and How Apple Came to Be”、www.atariarchives.org。ビル・ゲイツ、“Open Letter to Hobbyists” (1976年2月3日)。

アップル誕生：スティーブ・ジョブズ、スティーブ・ウォズニアック、マイク・マークラ、ロン・ウェインへのインタビュー。スティーブ・ジョブズ、アスペン国際デザイン会議における講演（1983年6月15日）、アスペン研究所アーカイブのテープ。アップルパートナーシップ契約、サンタクララ郡（1976年4月1日）および改正パートナーシップ契約（1976年4月12日）。Bruce Newman, "Apple's Lost Founder", サンノゼ・マーキュリー・ニューズ紙（2010年6月2日）。ウォズニアック（86、176-177）。モリッツ（149-151）。フライバーガーとスワイン（212-213）。Ashlee Vance, "A Haven for Spare Parts Lives on in Silicon Valley", ニューヨークタイムズ紙（2009年2月4日）。ポール・テレルのインタビュー（2008年8月1日）、mac-history.net。

ガレージバンド：スティーブ・ウォズニアック、エリザベス・ホームズ、ダン・コトケ、スティーブ・ジョブズへのインタビュー。ウォズニアック（179-189）。モリッツ（152-163）。ヤング（95-111）。R. S. Jones, "Comparing Apples and Oranges", インターフェース誌（1976年7月）。

第6章 アップルII

完全パッケージのアップルII：スティーブ・ジョブズ、スティーブ・ウォズニアック、アル・アルコーン、ロン・ウェインへのインタビュー。ウォズニアック（165、190-195）。ヤング（126）。モリッツ（169-170、194-197）。マローン（v, 103）。

マイク・マークラ登場：レジス・マッケンナ、ドン・バレンタイン、スティーブ・ジョブズ、スティーブ・ウォズニアック、マイク・マークラ、アーサー・ロックへのインタビュー。ノーラン・ブッシュネル、ScrewAttack Gaming Conventionにおける基調講演（ダラス、2009年7月5日）。スティーブ・ジョブズ、アスペン国際デザイン会議における講演（1983年6月15日）。マイク・マークラ、"The Apple Marketing Philosophy", マークラ氏提供（1979年12月）。ウォズニアック（196-199）。モリッツ（182-183）、マローン（110-111）も参照のこと。

レジス・マッケンナ：レジス・マッケンナ、ジョン・ドーア、スティーブ・ジョブズへのインタビュー。Ivan Raszl, "Interview with Rob Janoff", Creativebits.org（2009年8月3日）。

はじめてのドラマチックな発表会：スティーブ・ウォズニアック、スティーブ・ジョブズへのインタビュー。ウォズニアック（201-206）。モリッツ（199-201）。ヤング（139）。

マイク・スコットとジョブズ：マイク・スコット、マイク・マークラ、スティーブ・ジョブズ、スティーブ・ウォズニアック、アーサー・ロックへのインタビュー。ヤング（135）。フライバーガーとスワイン（219、222）。モリッツ（213）。エリオットとサイモン（4）。

第7章 クリスマンとリサ

妊娠とDNA鑑定：クリスマン・ブレナン、スティーブ・ジョブズ、エリザベス・

ホームズ、グレッグ・カルホーン、ダン・コトケ、アーサー・ロックへのインタビュー。モリッツ (285)。“The Updated Book of Jobs”、タイム誌 (1983年1月3日)。“Striking It Rich”、タイム誌 (1982年2月15日)。

第8章 ゼロックスとリサ

新しい赤ん坊：アンドレア・カニンガム、アンディ・ハーツフェルド、ステイーブ・ジョブズ、ビル・アトキンソンへのインタビュー。ウォズニアック (226)。レヴィ、『マッキントッシュ物語』(124)。ヤング (168-170)。ビル・アトキンソン、カリフォルニア州マウンテンビュー、Computer History Museum、オーラル・ヒストリー。ジェフ・ラスキン、“Holes in the Histories”、Interactions (1994年7月)。ジェフ・ラスキン、“Hubris of a Heavyweight”、IEEE Spectrum (1994年7月)。ジェフ・ラスキン、スタンフォード大学図書館Department of Special Collections、オーラル・ヒストリー (2000年4月13日)。リンツメイヤー (74、85-89)。

ゼロックスPARC：ステイーブ・ジョブズ、ジョン・シーラー・ブラウン、アデル・ゴールドバーグ、ラリー・テスラー、ビル・アトキンソンへのインタビュー。フライバーガーとスワイン (239)。レヴィ、『マッキントッシュ物語』(66-80)。ヒルツィック (330-341)。リンツメイヤー (74-75)。ヤング (170-172)。ローズ (45-47)。“Triumph of the Nerds”、PBS、part 3。

「偉大な芸術家は盗む」：ステイーブ・ジョブズ、ラリー・テスラー、ビル・アトキンソンへのインタビュー。レヴィ、『マッキントッシュ物語』(77、87-90)。“Triumph of the Nerds”、PBS、part 3。ブルース・ホーン、“Where It All Began” (1966年)、www.mackido.com。ヒルツィック (343、367-370)。マルコム・グラッドウエル、“Creation Myth”、New Yorker (2011年5月16日)。ヤング (178-182)。

第9章 株式公開

ストックオプション：ダン・コトケ、ステイーブ・ジョブズ、ステイーブ・ウォズニアック、アンディ・ハーツフェルド、マイク・マークラ、ビル・ハンブレクトへのインタビュー。“Sale of Apple Stock Barred”、ボストングローブ紙 (1980年12月11日)。

バイビー・ユアー・ア・リッチ・マン：ラリー・プリリアント、ステイーブ・ジョブズへのインタビュー。Steve Ditlea, “An Apple on Every Desk”、インク誌 (1981年10月1日)。“Striking It Rich”、タイム誌 (1982年2月15日)。“The Seeds of Success”、タイム誌 (1982年2月15日)。モリッツ (292-295)。シェフ。

第10章 マック誕生

ジェフ・ラスキンとの対立、乗っ取り：ビル・アトキンソン、ステイーブ・ジョブズ、アンディ・ハーツフェルド、マイク・マークラへのインタビュー。ジェフ・ラ

スキン、スタンフォード大学図書館に収蔵されているラスキンの論文——“Recollections of the Macintosh Project”、“Holes in the Histories”、“The Genesis and History of the Macintosh Project”、“Reply to Jobs, and Personal Motivation”、“Design Considerations for an Anthropophilic Computer”、“Computers by the Millions”。ジェフ・ラスキン、“A Conversation”、Ubiquity (2003年6月23日)。レヴィ、『マッキントッシュ物語』(107-121)。ハーツフェルド (19)。“Macintosh's Other Designers”、Byte (1984年8月)。ヤング (202、208-214)。“Apple Launches a Mac Attack”、タイム誌 (1984年1月30日)。マローン (255-258)。発言力を強めるジョブズ：アンドレア・カニンガム、ブルース・ホーン、アンディ・ハーツフェルド、マイク・スコット、マイク・マークラへのインタビュー。ハーツフェルド (19-20、26-27)。ウォズニアック (241-242)。

第11章 現実歪曲フィールド

現実歪曲フィールドの正体、よく立ち向かったで賞：ビル・アトキンソン、ステイーブ・ウォズニアック、デビ・コールマン、アンディ・ハーツフェルド、ブルース・ホーン、ジョアンナ・ホフマン、アル・アイゼンシュタット、アン・パウアー、ステイーブ・ジョブズへのインタビュー。バリエーションの異なる話も存在する。ハーツフェルド (24、68、161) を参照のこと。

第12章 デザイン

パウハウスの美を求め：ダニエル・ルイン、ステイーブ・ジョブズ、マヤ・リン、デビ・コールマンへのインタビュー。1983年6月15日、アスペン国際デザイン会議における Charles Hampden-Turner とステイーブ・ジョブズとの対話 (この会議の録音テープがアスペン研究所に保管されているのを Deborah Murphy が探しだしてくれた)。

ボルシェのように、書体へのこだわり：ビル・アトキンソン、アラン・ロスマン、マイク・マークラ、ステイーブ・ジョブズへのインタビュー。“The Macintosh Design Team”、Byte (1984年2月)。ハーツフェルド (29-31、41、46、63、68)。スカリー (157)。ジェリー・マノック、“Invasion of Texaco Towers”、Folklore.org。クンケル (26-30)。ジョブズ、スタンフォード大学卒業式におけるスピーチ。スーザン・ケアからの電子メール。スーザン・ケア、ハーツフェルド (165) 所収の“World Class Cities”。Laurence Zuckerman、“The Designer Who Made the Mac Smile”、ニューヨークタイムズ紙 (1996年8月26日)。スーザン・ケアのインタビュー (2000年9月8日)、スタンフォード大学図書館 Special Collections。レヴィ、『マッキントッシュ物語』(156)。ハルトムット・エスリンガー、『デザインイノベーション』(黒輪篤嗣訳、翔泳社) (7-9)。David Einstein、“Where Success Is by Design”、サンフランシスコクロニクル紙 (1995年10月6日)。シェフ。

第13章 マックの開発力

IBM vs. アップル：ステイーブ・ジョブズへのインタビュー。レヴィ、『マッキントッシュ物語』（125）。シェフ。ハーツフェルド（71-73）。ウォールストリートジャーナル紙掲載の広告（1981年8月24日）。

端から端まで支配する：ベリー・キャッシュへのインタビュー。ケイニー（241）。ダン・ファーバー、“Steve Jobs, the iPhone and Open Platforms”、ZDNet.com（2007年1月13日）。Tim Wu, “The Master Switch”（Knopf, 2010年）（254-276）。マイク・マレー、ステイーブ・ジョブズにあてた“Mac Memo”（1982年5月19日）（マイク・マレー氏提供）。

マシン・オブ・ザ・イヤー：ダン・コトケ、ステイーブ・ジョブズ、レイ・ケイブへのインタビュー。“The Computer Moves In”、タイム誌（1983年1月3日）。“The Updated Book of Jobs”、タイム誌（1983年1月3日）。モリッツ（11）。ヤング（293）。ローズ（9-11）。Peter McNulty, “Apple’s Bid to Stay in the Big Time”、フォーチュン誌（1983年2月7日）。“The Year of the Mouse”、タイム誌（1983年1月31日）。

ジョブズの採用基準：アン・パウアー、アンディ・ハーツフェルド、ビル・アトキンソン、アーサー・ロック、マイク・マークラ、ステイーブ・ジョブズ、デビ・コールマンへのインタビュー。スーザン・ケアからの電子メール。ハーツフェルド（76、135-138、158、160、166）。モリッツ（21-28）。ヤング（295-297、301-303）。スーザン・ケアへのインタビュー（2000年9月8日）、スタンフォード大学図書館。ジェフ・グッデル、“The Rise and Fall of Apple Computer”、ローリング・ストーン誌（1996年4月4日）。ローズ（59-69、93）。

第14章 スカリー登場

熱烈な求愛：ジョン・スカリー、アンディ・ハーツフェルド、ステイーブ・ジョブズへのインタビュー。ローズ（18、74-75）。スカリー（58-90、107）。エリオット（90-93）。マイク・マレーからマッキントッシュのスタッフにあてたメモ、“Special Mac Sneak”（1983年3月3日）（マイク・マレー氏提供）。ハーツフェルド（149-150）。

蜜月と悪い予兆：ステイーブ・ジョブズ、ジョン・スカリー、ジョアンナ・ホフマンへのインタビュー。スカリー（127-130、154-155、168、179）。ハーツフェルド（195）。

第15章 発売

出荷するのが真のアーティスト：アンディ・ハーツフェルド、ステイーブ・ジョブズへのインタビュー。アップル販売会議のビデオ（1983年10月）。“Personal Computers: And the Winner Is ... IBM”、ビジネスウィーク誌（1983年10月3日）。

ハーツフェルド (208-210)。ローズ (147-153)。レヴィ、『マッキントッシュ物語』(178-180)。ヤング (327-328)。

『1984年』 コマースシャル：リー・クロウ、ジョン・スカリー、マイク・マークラ、ビル・キャンベル、スティーブ・ジョブズへのインタビュー。スティーブ・ヘイデンへのインタビュー (2004年2月1日、NPR Weekend Edition)。リンツメイヤー (109-114)。スカリー (176)。

爆発的パブリシティ：ハーツフェルド (226-227)。Michael Rogers, "It's the Apple of His Eye", ニュースウィーク誌 (1984年1月30日)。レヴィ、『マッキントッシュ物語』(17-27)。

マッキントッシュ発売 (1984年1月24日)：ジョン・スカリー、スティーブ・ジョブズ、アンディ・ハーツフェルドへのインタビュー。1984年1月に開催されたアップル株主総会のビデオ。ハーツフェルド (213-223)。スカリー (179-181)。William Hawkins, "Jobs' Revolutionary New Computer", ポピュラーサイエンス誌 (1989年1月)。

第16章 ゲイツとジョブズ

マッキントッシュにまつわるパートナーシップ：ビル・ゲイツ、スティーブ・ジョブズ、ブルース・ホーンへのインタビュー。ハーツフェルド (52-54)。スティーブ・ローア, "Creating Jobs", ニューヨークタイムズ紙 (1997年1月12日)。
"Triumph of the Nerds", PBS, part 3。Rusty Weston, "Partners and Adversaries", MacWeek (1989年3月14日)。ウォルト・モスバーグとカーラ・スウィッシャー、ビル・ゲイツとスティーブ・ジョブズのインタビュー、All Things Digital (2007年5月31日)。ヤング (319-320)。カールトン (28)。プレント・シュレンダー, "How Steve Jobs Linked Up with IBM", フォーチュン誌 (1989年10月9日)。スティーブ・レヴィ, "A Big Brother?", ニュースウィーク誌 (1997年8月18日)。

GUIをめぐる戦い：ビル・ゲイツ、スティーブ・ジョブズへのインタビュー。ハーツフェルド (191-193)。Michael Schrage, "IBM Compatibility Grows", ワシントンポスト紙 (1983年11月29日)。
"Triumph of the Nerds", PBS, part 3。

第17章 イカロス

空高く飛ぶ：スティーブ・ジョブズ、デビ・コールマン、ビル・アトキンソン、アンディ・ハーツフェルド、アラン・ロスマン、ジョアンナ・ホフマン、ジャン・ルイ・ガセー、ニコラス・ネグロポンテ、アーサー・ロック、ジョン・スカリーへのインタビュー。シェフ。ハーツフェルド (206-207, 230)。スカリー (197-199)。ヤング (308-309)。George Gendron と Bo Burlingham, "Entrepreneur of the Decade", インク誌 (1989年4月1日)。

墜ちてゆく：ジョアンナ・ホフマン、ジョン・スカリー、リー・クロウ、デビ・コールマン、アンドレア・カニンガム、スティーブ・ジョブズへのインタビュー。ス

カリー (201, 212-215)。レヴィ、『マッキントッシュ物語』(186-192)。Michael Rogers, "It's the Apple of His Eye", ニューズウィーク誌 (1984年1月30日)。ローズ (207, 233)。Felix Kessler, "Apple Pitch", フォーチュン誌 (1985年4月15日)。リンツメイヤー (145)。

30歳という節目: Mallory Walker, アンディ・ハーツフェルド、デビ・コールマン、エリザベス・ホームズ、ステイブ・ウォズニアック、ドン・バレンタインへのインタビュー。シェフ。

大量脱出はじまる: アンディ・ハーツフェルド、ステイブ・ウォズニアック、ブルース・ホーンへのインタビュー。ハーツフェルド (253, 263-264)。ヤング (372-376)。ウォズニアック (265-266)。ローズ (248-249)。Bob Davis, "Apple's Head, Jobs, Denies Ex-Partner Use of Design Firm", ウォールストリートジャーナル紙 (1985年3月22日)。

対決のとき (1985年春): ステイブ・ジョブズ、アル・アルコーン、ジョン・スカリー、マイク・マレーへのインタビュー。エリオット (15)。スカリー (205-206, 227, 238-244)。ヤング (367-379)。ローズ (238, 242, 254-255)。マイク・マレーのメモ (宛先は非公開), "Let's Wake Up and Die Right" (1985年3月7日) (マイク・マレー氏提供)。

クーデターを画策: ステイブ・ジョブズ、ジョン・スカリーへのインタビュー。ローズ (266-275)。スカリー (ix-x, 245-246)。ヤング (388-396)。エリオット (112)。

1985年5月の7日間: ジャン・ルイ・ガセー、ステイブ・ジョブズ、ビル・キャンベル、アル・アイゼンシュタット、ジョン・スカリー、マイク・マレー、マイク・マークラ、デビ・コールマンへのインタビュー。プロ・ウタル, "Behind the Fall of Steve Jobs", フォーチュン誌 (1985年8月5日)。スカリー (249-260)。ローズ (275-290)。ヤング (396-404)。

ライク・ア・ローリング・ストーン: マイク・マレー、マイク・マークラ、ステイブ・ジョブズ、ジョン・スカリー、ボブ・メトカーフ、ジョージ・ライリー、アンディ・ハーツフェルド、ティナ・レドセ、マイク・マーウィン、アル・アイゼンシュタット、アーサー・ロックへのインタビュー。ティナ・レドセからステイブ・ジョブズへの電子メール (2010年7月20日)。“No Job for Jobs”, AP通信 (1985年7月26日)。“Jobs Talks about His Rise and Fall”, ニューズウィーク誌 (1985年9月30日)。ハーツフェルド (269-271)。ヤング (387, 403-405)。ヤングとサイモン (116)。ローズ (288-292)。スカリー (242-245, 286-287)。アル・アイゼンシュタットからアーサー・ハートマンへの手紙 (1985年7月23日) (アル・アイゼンシュタット氏提供)。

第18章 ネクスト

海賊、船を捨てる: ダニエル・ルイン、ステイブ・ジョブズ、ビル・キャンベル、アーサー・ロック、マイク・マークラ、ジョン・スカリー、アンドレア・カニンガム、ジョアンナ・ホフマンへのインタビュー。Patricia Bellew GrayとMichael

Miller, "Apple Chairman Jobs Resigns", ウォールストリートジャーナル紙 (1985年9月18日)。Gerald LubenowとMichael Rogers, "Jobs Talks about His Rise and Fall", ニューズウィーク誌 (1985年9月30日)。プロ・ウタル, "The Adventures of Steve Jobs", フォーチュン誌 (1985年10月14日)。Susan Kerr, "Jobs Resigns", Computer Systems News (1985年9月23日)。“Shaken to the Very Core”, タイム誌 (1985年9月30日)。John Eckhouse, "Apple Board Fuming at Steve Jobs", サンフランシスコクロニクル紙 (1985年9月17日)。ハーツフェルド (132-133)。スカリー (313-317)。ヤング (415-416)。ヤングとサイモン (127)。ローズ (307-319)。ストロス (73)。デウッチマン (36)。Complaint for Breaches of Fiduciary Obligations, Apple Computer v. Steven P. Jobs and Richard A. Page, カリフォルニア州サンタクララ郡上級裁判所 (1985年9月23日)。Patricia Bellew Gray, "Jobs Asserts Apple Undermined Efforts to Settle Dispute", ウォールストリートジャーナル紙 (1985年9月25日)。

独立独歩: アーサー・ロック、スーザン・ケア、ステイブ・ジョブズ、アル・アイゼンシュタットへのインタビュー。“Logo for Jobs' New Firm”, サンフランシスコクロニクル紙 (1986年6月19日)。Phil Patton, "Steve Jobs: Out for Revenge", ニューヨークタイムズ紙 (1989年8月6日)。ポール・ランド、NeXTロゴのプレゼンテーション (1985年)。Doug EvansとAllan Pottasch, ポール・ランドに関するステイブ・ジョブズへのインタビューのビデオ (1993年)。ステイブ・ジョブズからアル・アイゼンシュタットへの手紙 (1985年11月4日)。アイゼンシュタットからジョブズ (1985年11月8日)。Agreement between Apple Computer Inc. and Steven P. Jobs, and Request for Dismissal of Lawsuit without Prejudice, カリフォルニア州サンタクララ郡上級裁判所へ提出 (1986年1月17日)。デウッチマン (47, 43)。ストロス (76, 118-120, 245)。クンケル (58-63)。ケイティ・ハフナー, "Can He Do It Again?", ビジネスウィーク誌 (1988年10月24日)。ジョー・ノチェラ, "The Second Coming of Steve Jobs", エスクァイア誌 (1986年12月)。“Good Guys and Bad Guys”に収録 (Portfolio, 2008年) (49)。プレント・シュレンダー, "How Steve Jobs Linked Up with IBM", フォーチュン誌 (1989年10月9日)。

苦難の日々: ミッチ・ケイパー、マイケル・ホーリー、ステイブ・ジョブズへのインタビュー。Peter DenningとKaren Frenkle, "A Conversation with Steve Jobs", Association for Computer Machineryのコミュニケ (1989年4月1日)。John Eckhouse, "Steve Jobs Shows Off Ultra-Robotic Assembly Line", サンフランシスコクロニクル紙 (1989年6月13日)。ストロス (122-125)。デウッチマン (60-63)。ヤング (425)。ケイティ・ハフナー, "Can He Do It Again?", ビジネスウィーク誌 (1988年10月24日)。“The Entrepreneurs”, PBS (1986年11月5日)、John Nathan制作。

助けに現れたベロー: ストロス (102-112)。“Perot and Jobs”, ニューズウィーク誌 (1987年2月9日)。アンドリュウ・ボラック, "Can Steve Jobs Do It Again?", ニューヨークタイムズ紙 (1987年11月8日)。ケイティ・ハフナー, "Can He Do It Again?", ビジネスウィーク誌 (1988年10月24日)。Pat Steger, "A Gem of an

Evening with King Juan Carlos”、サンフランシスコクロニクル紙（1987年10月5日）。デービッド・レムニック、“How a Texas Playboy Became a Billionaire”、ワシントンポスト紙（1987年5月20日）。

ゲイツとネクスト：ビル・ゲイツ、アデル・ゴールドバーグ、ステイーブ・ジョブズへのインタビュー。Brit Hume、“Steve Jobs Pulls Ahead”、ワシントンポスト紙（1988年10月31日）。プレント・シュレンダー、“How Steve Jobs Linked Up with IBM”、フォーチュン誌（1989年10月9日）。ストロス（14）。リンツメイヤー（209）。“William Gates Talks”、ワシントンポスト紙（1990年12月30日）。ケイティ・ハフナー、“Can He Do It Again?”、ビジネスウィーク誌（1988年10月24日）。John Thompson、“Gates, Jobs Swap Barbs”、Computer System News（1989年11月27日）。

I BMとベッドをともにする：プレント・シュレンダー、“How Steve Jobs Linked Up with IBM”、フォーチュン誌（1989年10月9日）。Phil Patton、“Out for Revenge”、ニューヨークタイムズ紙（1989年8月6日）。ストロス（140-142）。デウッチマン（133）。

ネクストコンピュータ発売（1988年10月）：ストロス（166-186）。ウェス・スミス、“Jobs Has Returned”、シカゴ・トリビューン紙（1988年11月13日）。アンドリュウ・ボラック、“NeXT Produces a Gala”、ニューヨークタイムズ紙（1988年10月10日）。プレント・シュレンダー、“Next Project”、ウォールストリートジャーナル紙（1988年10月13日）。ケイティ・ハフナー、“Can He Do It Again?”、ビジネスウィーク誌（1988年10月24日）。デウッチマン（128）。“Steve Jobs Comes Back”、ニューズウィーク誌（1988年10月24日）。“The NeXT Generation”、サンノゼ・マーキュリー・ニューズ紙（1988年10月10日）。

第19章 ピクサー

ルーカスフィルムのコンピュータ部門：エド・キャットムル、アルビー・レイ・スミス、ステイーブ・ジョブズ、パム・カーウィン、マイケル・アイズナーへのインタビュー。プライス（71-74、89-101）。Paik（53-57、226）。ヤングとサイモン（169）。デウッチマン（115）。

ジョン・ラセターとアニメーション：ジョン・ラセター、ステイーブ・ジョブズへのインタビュー。Paik（28-44）。プライス（45-56）。

『ティン・トイ』の成功：パム・カーウィン、アルビー・レイ・スミス、ジョン・ラセター、エド・キャットムル、ステイーブ・ジョブズ、ジェフリー・カツエンバーグ、マイケル・アイズナー、アンディ・グロープへのインタビュー。ステイーブ・ジョブズからAlbert Yuへの電子メール（1995年9月23日）。Albert Yuからステイーブ・ジョブズ（1995年9月25日）。ステイーブ・ジョブズからアンディ・グロープ（1995年9月25日）。アンディ・グロープからステイーブ・ジョブズ（1995年9月26日）。ステイーブ・ジョブズからアンディ・グロープ（1995年10月1日）。プライス（104-114）。ヤングとサイモン（166）。

第20章 レギュラー・ガイ

ジョーン・バエズ：ジョーン・バエズ、スティーブ・ジョブズ、ジョアンナ・ホフマン、デビ・コールマン、アンディ・ハーツフェルドへのインタビュー。ジョーン・バエズ、『ジョーン・バエズ自伝』（矢沢寛・佐藤ひろみ訳、晶文社）（144、380）。

ジョアンとモナを捜しあてる：スティーブ・ジョブズ、モナ・シンプソンへのインタビュー。

行方不明の父親：スティーブ・ジョブズ、ローリーン・パウエル、モナ・シンプソン、ケン・オーレッタ、ニック・ビレッジへのインタビュー。

リサ：クリスアン・ブレナン、アビー・テバニアン、ジョアンナ・ホフマン、アンディ・ハーツフェルドへのインタビュー。リサ・ブレナン = ジョブズ、“Confessions of a Lapsed Vegetarian”, *Southwest Review* (2008年)。ヤング (224)。デウッチマン (76)。

大嵐のような恋愛：ジェニファー・イーガン、ティナ・レドセ、スティーブ・ジョブズ、アンディ・ハーツフェルド、ジョアンナ・ホフマンへのインタビュー。デウッチマン (73、138)。モナ・シンプソンの“A Regular Guy”はジョブズとリサとクリスアン・ブレナンの関係を下敷きにした小説。ティナ・レドセをモデルにしたOliviaというキャラクターも登場する。

ローリーン・パウエル：ローリーン・パウエル、スティーブ・ジョブズ、キャスリン・スミス、アビー・テバニアン、アンディ・ハーツフェルド、Marjorie Powell Bardenへのインタビュー。

結婚式 (1991年3月18日)：スティーブ・ジョブズ、ローリーン・パウエル、アンディ・ハーツフェルド、ジョアンナ・ホフマン、アビー・テバニアン、モナ・シンプソンへのインタビュー。モナ・シンプソン、“A Regular Guy” (357)。

家族の家：スティーブ・ジョブズ、ローリーン・パウエル、アンディ・ハーツフェルドへのインタビュー。David Weinstein, “Taking Whimsy Seriously”, サンフランシスコクロニクル紙 (2003年9月13日)。ゲリー・ウルフ, “Steve Jobs”, ワイアード誌 (1996年2月)。“Former Apple Designer Charged with Harassing Steve Jobs”, AP (1993年6月8日)。

リサを引き取る：スティーブ・ジョブズ、ローリーン・パウエル、モナ・シンプソン、アンディ・ハーツフェルドへのインタビュー。リサ・ブレナン = ジョブズ, “Driving Jane”, ハーバード・アドボケイト誌 (1999年春号)。モナ・シンプソン, “A Regular Guy” (251)。クリスアン・ブレナンからの電子メール (2011年1月19日)。Bill Workman, “Palo Alto High School’s Student Scoop”, サンフランシスコクロニクル紙 (1996年3月16日)。リサ・ブレナン = ジョブズ, “Waterloo”, *Massachusetts Review* (2006年春号)。デウッチマン (258)。クリスアン・ブレナンのウェブサイト, chrysanthemum.com。スティーブ・ローア, “Creating Jobs”, ニューヨークタイムズ紙 (1997年1月12日)。

子どもたち：スティーブ・ジョブズ、ローリーン・パウエルへのインタビュー。

第21章 『トイ・ストーリー』

ジェフリー・カツツェンバークとの確執：ジョン・ラセター、エド・キャットムル、ジェフリー・カツツェンバーク、アルビー・レイ・スミス、ステイーブ・ジョブズへのインタビュー。プライス (84-85、119-124)。Paik (71、90)。Robert Murphy, “John Cooley Looks at Pixar’s Creative Process”, Silicon Prairie News (2010年10月6日)。

うずく制作の血：ステイーブ・ジョブズ、ジェフリー・カツツェンバーク、エド・キャットムル、ラリー・エリソンへのインタビュー。Paik (90)。デウッチマン (194-198)。“Toy Story: The Inside Buzz”, Entertainment Weekly (1995年12月8日)。

無限の彼方へ さあ行くぞ！：ステイーブ・ジョブズ、マイケル・アイズナーへのインタビュー。ジャネット・マスリン, “There’s a New Toy in the House. Uh-Oh”, ニューヨークタイムズ紙 (1995年11月22日)。“A Conversation with Steve Jobs and John Lasseter”, Charlie Rose, PBS (1996年10月30日)。ジョン・マルコフ, “Apple Computer Co-Founder Strikes Gold”, ニューヨークタイムズ紙 (1995年11月30日)。

第22章 再臨

八方ふさがり：ジャン＝ルイ・ガセーへのインタビュー。バート・ツイーグラ、 “Industry Has Next to No Patience with Jobs’ NeXT”, AP通信 (1990年8月19日)。ストロス (226-228)。ゲリー・ウルフ, “The Next Insanely Great Thing”, ワイアード誌 (1996年2月)。アンソニー・バーキンス, “Jobs’ Story”, レッドヘリング誌 (1996年1月1日)。

落ちたリング：ステイーブ・ジョブズ、ジョン・スカリー、ラリー・エリソンへのインタビュー。スカリー (248、273)。デウッチマン (236)。ステイーブ・ローア, “Creating Jobs”, ニューヨークタイムズ紙 (1997年1月12日)。アメリオ (190) およびハードカバー版前書き。ヤングとサイモン (213-214)。リンツメイヤー (273-279)。ガイ・カワサキ, “Steve Jobs to Return as Apple CEO”, マックワールド誌 (1994年11月1日)。

クパチーノへにじり寄る：ジョン・ルビンシュタイン、ステイーブ・ジョブズ、ラリー・エリソン、アビー・テバニアン、フレッド・アンダーソン、ラリー・テストラー、ビル・ゲイツ、ジョン・ラセターへのインタビュー。ジョン・マルコフ, “Why Apple Sees Next as a Match Made in Heaven”, ニューヨークタイムズ紙 (1996年12月23日)。ステイーブ・ローア, “Creating Jobs”, ニューヨークタイムズ紙 (1997年1月12日)。Rajiv Chandrasekaran, “Steve Jobs Returning to Apple”, ワシントンポスト紙 (1996年12月21日)。ルイズ・キーホー, “Apple’s Prodigal Son Returns”, フィナンシャル・タイムズ紙 (1996年12月23日)。アメリオ (189-201、238)。カールトン (409)。リンツメイヤー (277)。デウッチマン (240)。

第23章 王政復古

舞台裏をさまよう：スティーブ・ジョブズ、アビー・テパニアン、ジョン・ルビンシュタイン、エド・ウーラード、ラリー・エリソン、フレッド・アンダーソンへのインタビュー。ジーナ・スミスからの電子メール。シェフ。ブレント・シュレンダー、“Something’s Rotten in Cupertino”、フォーチュン誌（1997年3月3日）。ダン・ギルモア、“Apple’s Prospects Better Than Its CEO’s Speech”、サンノゼ・マーキュリー・ニュース紙（1997年1月13日）。カールトン（414-416、425）。マローン（531）。デウッチマン（241-245）。アメリオ（219、238-247、261）。リンツメイヤー（201）。Kaitlin Quistgaard、“Apple Spins Off Newton”、Wired.com（1997年5月22日）。ルイズ・キーホー、“Doubts Grow about Leadership at Apple”、フィナンシャル・タイムズ紙（1997年2月25日）。ダン・ギルモア、“Ellison Mulls Apple Bid”、サンノゼ・マーキュリー・ニュース紙（1997年3月27日）。Lawrence Fischer、“Oracle Seeks Public Views on Possible Bid for Apple”、ニューヨークタイムズ紙（1997年3月28日）。マイク・バーニクル、“Roadkill on the Info Highway”、ボストングローブ紙（1997年8月5日）。

アメリオ退場、社内改革：エド・ウーラード、スティーブ・ジョブズ、マイク・マークラ、スティーブ・ウォズニアック、フレッド・アンダーソン、ラリー・エリソン、ビル・キャンベルへのインタビュー。エド・ウーラードが自費出版した私的回顧録（ウーラード氏提供）。アメリオ（247、261、267）。ゲリー・ウルフ、“The World According to Woz”、ワイアード誌（1998年9月）。Peter BurrowsとRonald Grover、“Steve Jobs’ Magic Kingdom”、ビジネスウィーク誌（2006年2月6日）。Peter Elkind、“The Trouble with Steve Jobs”、フォーチュン誌（2008年3月5日）。アーサー・レビット、『ウォール街の大罪』（小川敏子訳、日本経済新聞社）（204-206）。

ボストンマックワールド（1997年8月）：スティーブ・ジョブズ、ボストンマックワールドにおける基調講演（1997年8月6日）。

マイクロソフト協約：ジョエル・クライン、ビル・ゲイツ、スティーブ・ジョブズへのインタビュー。Cathy Booth、“Steve’s Job”、タイム誌（1997年8月18日）。スティーブ・レヴィイ、“A Big Brother?”、ニュースウィーク誌（1997年8月18日）。ジョブズがゲイツと携帯電話で話していた件は、タイム誌のカメラマン、ダイアナ・ウォーカーによる。タイム誌の表紙と本書に掲載された写真（ステージにしゃがんで電話をしているジョブズ）も、ダイアナ・ウォーカーが撮影。

第24章 シンク・ディファレント

クレージーな人たちがいる：スティーブ・ジョブズ、リー・クロウ、ジェイムズ・ヴィンセント、ノーマン・パールスタインへのインタビュー。Cathy Booth、“Steve’s Job”、タイム誌（1997年8月18日）。John Heilemann、“Steve Jobs in a Box”、New York（2007年6月17日）。

iCEO：ステイーブ・ジョブズ、フレッド・アンダーソンへのインタビュー。1997年9月におこなわれたスタッフミーティングのビデオ（リー・クロウ氏提供）。“Jobs Hints That He May Want to Stay at Apple”、ニューヨークタイムズ紙（1997年10月10日）。Jon Swartz, “No CEO in Sight for Apple”、サンフランシスコクロニクル紙（1997年12月12日）。カールトン（437）。

クローンの廃止：ビル・ゲイツ、ステイーブ・ジョブズ、エド・ウーラードへのインタビュー。ステイーブ・ウォズニアック, “How We Failed Apple”、ニューズウィーク誌（1996年2月19日）。リンツメイヤー（245-247、255）。ビル・ゲイツがジョン・スカリーにあてたメモ, “Licensing of Mac Technology”（1985年6月25日）。Tom Abate, “How Jobs Killed Mac Clone Makers”、サンフランシスコクロニクル紙（1997年9月6日）。

製品ラインの見直し：フィル・シラー、エド・ウーラード、ステイーブ・ジョブズへのインタビュー。デウッチマン（248）。ステイーブ・ジョブズ、iMac発表イベントにおける講演（1998年5月6日）。1997年9月におこなわれたスタッフミーティングのビデオ。

第25章 デザイン原理

ジョニー・アイブ：ジョニー・アイブ、ステイーブ・ジョブズ、フィル・シラーへのインタビュー。John Arlidge, “Father of Invention”、Observer（ロンドン）（2003年12月21日）。Peter Burrows, “Who Is Jonathan Ive?”、ビジネスウィーク誌（2006年9月25日）。“Apple’s One-Dollar-a-Year Man”、フォーチュン誌（2000年1月24日）。Rob Walker, “The Guts of a New Machine”、ニューヨークタイムズ紙（2003年11月30日）。リーアンダー・ケイニー, “Design According to Ive”、Wired.com（2003年6月25日）。

未来を創り出す工房：ジョニー・アイブへのインタビュー。米国特許商標庁オンライン・データベース、patft.uspto.gov。リーアンダー・ケイニー, “Jobs Awarded Patent for iPhone Packaging”、Cult of Mac（2009年7月22日）。Harry McCracken, “Patents of Steve Jobs”、Technologizer.com（2009年5月28日）。

第26章 iMac

バック・トゥ・ザ・フューチャー：フィル・シラー、アビー・テバニアン、ジョン・ルビンシュタイン、ステイーブ・ジョブズ、フレッド・アンダーソン、マイク・マークラ、ジョニー・アイブ、リー・クロウへのインタビュー。Thomas Hormby, “Birth of the iMac”、Mac Observer（2007年5月25日）。Peter Burrows, “Who Is Jonathan Ive?”、ビジネスウィーク誌（2006年9月25日）。レヴ・グロスマン, “How Apple Does It”、タイム誌（2005年10月16日）。リーアンダー・ケイニー, “The Man Who Named the iMac and Wrote Think Different”、Cult of Mac（2009年11月3日）。レヴィ, “iPodは何を変えたのか?”（198）。gawker.com/comment/21123257/。“Steve’s Two Jobs”、タイム誌（1999年10月

18日)。

発表 (1998年5月6日) : ジョニー・アイブ、ステイーブ・ジョブズ、フィル・シラー、ジョン・ルビンシュタインへのインタビュー。ステイーブン・レヴィ、「Hello Again」、ニューズウィーク誌 (1998年5月18日)。Jon Swartz、「Resurgence of an American Icon」、フォーブス誌 (2000年4月14日)。レヴィ、「iPodは何を変えたのか?」(95)。

第27章 CEO

ティム・クック : ティム・クック、ステイーブ・ジョブズ、ジョン・ルビンシュタインへのインタビュー。Peter Burrows、「Yes, Steve, You Fixed It. Congratulations. Now What?」、ビジネスウィーク誌 (2000年7月31日)。ティム・クック、オーバーン大学卒業式におけるスピーチ (2010年5月14日)。アダム・ラシンスキー、「The Genius behind Steve」、フォーチュン誌 (2008年11月10日)。Nick Wingfield、「Apple's No. 2 Has Low Profile」、ウォールストリートジャーナル紙 (2006年10月16日)。

ハイネックとチームワーク、プレゼンテーションの帝王 : ステイーブ・ジョブズ、ジェイムズ・ヴィンセント、ジョニー・アイブ、リー・クロウ、アビー・テバニアン、ジョン・ルビンシュタインへのインタビュー。レヴ・グロスマン、「How Apple Does It」、タイム誌 (2005年10月16日)。リーアンドン・ケイニー、「How Apple Got Everything Right by Doing Everything Wrong」、ワイアード誌 (2008年3月18日)。

iCEOからCEOへ : エド・ウーラード、ラリー・エリソン、ステイーブ・ジョブズへのインタビュー。アップル委任状説明書 (2001年3月12日)。

第28章 アップルストア

顧客体験もコントロールしたい : ステイーブ・ジョブズ、ロン・ジョンソンへのインタビュー。Jerry Useem、「America's Best Retailer」、フォーチュン誌 (2007年3月19日)。ゲーリー・アレン、「Apple Stores」、ifoAppleStore.com。

プロトタイプ : アート・レヴィンソン、エド・ウーラード、ミラード・ミッキー・ドレクスラー、ラリー・エリソン、ロン・ジョンソン、ステイーブ・ジョブズ、アート・レヴィンソンへのインタビュー。Cliff Edwards、「Sorry, Steve...」、ビジネスウィーク誌 (2001年5月21日)。

素材へのこだわり : ロン・ジョンソン、ステイーブ・ジョブズへのインタビュー。米国特許商標庁、D478,999 (2003年8月26日)、US2004/0006939 (2004年1月15日)。ゲーリー・アレン、「About Me」、ifoAppleStore.com。

第29章 デジタルハブ

点と点を結ぶ : リー・クロウ、ジョニー・アイブ、ステイーブ・ジョブズへのイン

タビュー。シェフ。スティーブ・ジョブズ、マックワールドにおける基調講演 (2001年1月9日)。

ファイアワイヤー：スティーブ・ジョブズ、フィル・シラー、ジョン・ルビンシュタインへのインタビュー。スティーブ・ジョブズ、マックワールドにおける基調講演 (2001年1月9日)。ジョシュ・クイットナー、“Apple’s New Core”、タイム誌 (2002年1月14日)。マイク・エバンジェリスト、“Steve Jobs, the Genuine Article”、Writer’s Block Live (2005年10月7日)。Farhad Manjoo、“Invincible Apple”、Fast Company (2010年7月1日)。フィル・シラーからの電子メール。

iTunes：スティーブ・ジョブズ、フィル・シラー、ジョン・ルビンシュタイン、トニー・ファデルへのインタビュー。プレント・シュレンダー、“How Big Can Apple Get”、フォーチュン誌 (2005年2月21日)。ビル・キンケイド、“The True Story of SoundJam”、<http://panic.com/extras/audionstory/popup-sjstory.html>。レヴィ、『iPodは何を変えたのか?』(49-60)。Knopper (167)。レヴ・グロスマン、“How Apple Does It”、タイム誌 (2005年10月17日)。マルコフ (xix)。

iPod：スティーブ・ジョブズ、フィル・シラー、ジョン・ルビンシュタイン、トニー・ファデルへのインタビュー。スティーブ・ジョブズ、iPodの発表 (2001年10月23日)。東芝プレスリリース、PR Newswire (2000年5月10日と2001年6月4日)。Tekla Perry、“From Podfather to Palm’s Pilot”、IEEE Spectrum (2008年9月)。リーアンダー・ケイニー、“Inside Look at Birth of the iPod”、ワイアード誌 (2004年7月21日)。Tom HormbyとDan Knight、“History of the iPod”、Low End Mac (2005年10月14日)。

「それだ!」：トニー・ファデル、フィル・シラー、ジョン・ルビンシュタイン、ジョニー・アイブ、スティーブ・ジョブズへのインタビュー。レヴィ、『iPodは何を変えたのか?』(17、59-60)。Knopper (169)。リーアンダー・ケイニー、“Straight Dope on the iPod’s Birth”、ワイアード誌 (2006年10月17日)。

クジラの白さ：ジェイムズ・ヴィンセント、リー・クロウ、スティーブ・ジョブズへのインタビュー。ウォズニアック (298)。レヴィ、『iPodは何を変えたのか?』(73)。Johnny Davis、“Ten Years of the iPod”、Guardian (2011年3月18日)。

第30章 iTunes ストア

1曲99セント：ポール・ヴィディック、スティーブ・ジョブズ、ダグ・モリス、パリー・シュラー、ロジャー・エイムズ、エディ・キューへのインタビュー。Paul Sloan、“What’s Next for Apple”、Business 2.0 (2005年4月1日)。Knopper (157-161、170)。Devin Leonard、“Songs in the Key of Steve”、フォーチュン誌 (2003年5月12日)。トニー・パーキンス、ダボス世界経済フォーラムにおける出井伸之およびハワード・ストリンガーのインタビュー (2003年1月25日)。Dan Tynan、“The 25 Worst Tech Products of All Time”、PCワールド誌 (2006年3月26日)。アンディ・ランガー、“The God of Music”、エスクァイア誌 (2003年7月)。ジェフ・グッデル、“Steve Jobs”、ローリング・ストーン誌 (2003年12月3日)。羊の群れを追い込む：ダグ・モリス、ロジャー・エイムズ、スティーブ・ジョブ

ズ、ジミー・イオヴァイン、アンディ・ラック、エディ・キュー、ウイントン・マルサリスへのインタビュー。Knopper (172)。Devin Leonard, “Songs in the Key of Steve”、フォーチュン誌 (2003年5月12日)。Peter Burrows, “Show Time”、ビジネスウィーク誌 (2004年2月2日)。Pui-Wing Tam, Bruce Orwall, Anna Wilde Mathews, “Going Hollywood”、ウォールストリートジャーナル紙 (2003年4月25日)。ステイーブ・ジョブズ、基調講演 (2003年4月28日)。アンディ・ランガー, “The God of Music”、エスクァイア誌 (2003年7月)。ステイーブ・レヴィ, “Not the Same Old Song”、ニューズウィーク誌 (2003年5月12日)。

マイクロソフトの歯ぎしり：ステイーブ・ジョブズ、フィル・シラー、ティム・クック、ジョン・ルビンシュタイン、トニー・ファデル、エディ・キューへのインタビュー。ジム・オールチン、デヴィッド・コール、ビル・ゲイツの電子メール (2003年4月30日) (この電子メールはのちにアイオワ州で訴訟の証拠となり、それをステイーブ・ジョブズが私に送付してくれた)。ステイーブ・ジョブズ、プレゼンテーション (2003年10月16日)。ウォルト・モスバーグによるステイーブ・ジョブズのインタビュー、オール・シングス・デジタル会議 (2007年5月30日)。ビル・ゲイツ, “We’re Early on the Video Thing”、ビジネスウィーク誌 (2004年9月2日)。

ミスター・タンブリン・マン：アンディ・ラック、ティム・クック、ステイーブ・ジョブズ、トニー・ファデル、ジョン・ルビンシュタインへのインタビュー。Ken Belson, “Infighting Left Sony behind Apple in Digital Music”、ニューヨークタイムズ紙 (2004年4月19日)。Frank Rose, “Battle for the Soul of the MP3 Phone”、ワイ어드誌 (2005年11月)。Saul Hansel, “Gates vs. Jobs: The Rematch”、ニューヨークタイムズ紙 (2004年11月14日)。John Borland, “Can Glaser and Jobs Find Harmony?”, CNET News (2004年8月17日)。レヴィ, 『iPodは何を変えたのか?』 (169)。

第31章 ミュージックマン

ジョブズのiPodの中身：ステイーブ・ジョブズ、ジェイムズ・ヴィンセントへのインタビュー。エリザベス・ビューミラー, “President Bush’s iPod”、ニューヨークタイムズ紙 (2005年4月11日)。レヴィ, 『iPodは何を変えたのか?』 (26-29)。Devin Leonard, “Songs in the Key of Steve”、フォーチュン誌 (2003年5月12日)。

ボブ・デイルン：ジェフ・ローゼン、アンディ・ラック、エディ・キュー、ステイーブ・ジョブズ、ジェイムズ・ヴィンセント、リー・クロウへのインタビュー。Matthew Creamer, “Bob Dylan Tops Music Chart Again—and Apple’s a Big Reason Why”、アドエイジ誌 (2006年10月8日)。

ビートルズ、ボノ、ヨーヨー・マ：ボノ、John Eastman、ステイーブ・ジョブズ、ヨーヨー・マ、ジョージ・ライリーへのインタビュー。

第32章 ピクサーの友人

『バグズライフ』：ジェフリー・カッツェンバーグ、ジョン・ラセター、ステイブ・ジョブズへのインタビュー。プライス (171-174)。Paik (116)。Peter Burrows, “Antz vs. Bugs”と“Steve Jobs: Movie Mogul”、ビジネスウィーク誌 (1998年11月23日)。Amy Wallace, “Ouch! That Stings”、ロサンゼルス・タイムズ紙 (1998年9月21日)。Kim Masters, “Battle of the Bugs”、タイム誌 (1998年9月28日)。Richard Schickel, “Antz”、タイム誌 (1998年10月12日)。リチャード・コーリス, “Bugs Funny”、タイム誌 (1998年11月30日)。

『ステイブ自身の映画』：ジョン・ラセター、バム・カーウィン、エド・キャットムル、ステイブ・ジョブズへのインタビュー。Paik (168)。Rick Lyman, “A Digital Dream Factory in Silicon Valley”、ニューヨークタイムズ紙 (2001年6月11日)。

絶交、決着：マイク・スレイド、オーレン・ジェイコブ、マイケル・アイズナー、ボブ・アイガー、ステイブ・ジョブズ、ジョン・ラセター、エド・キャットムルへのインタビュー。James Stewart, “Disney War” (Simon & Schuster, 2005年) (383)。プライス (230-235)。Benny Evangelista, “Parting Slam by Pixar’s Jobs”、サンフランシスコクロニクル紙 (2004年2月5日)。ジョン・マルコフとLaura Holson, “New iPod Will Play TV Shows”、ニューヨークタイムズ紙 (2005年10月13日)。

第33章 21世紀のマック

貝殻、角氷、ヒマワリ：ジョン・ルビンシュタイン、ジョニー・アイブ、ローリーン・パウエル、ステイブ・ジョブズ、フレッド・アンダーソン、ジョージ・ライリーへのインタビュー。ステイブ・レヴィ、 “Thinking inside the Box”、ニューズウィーク誌 (2000年7月31日)。プレント・シュレンダー, “Steve Jobs”、フォーチュン誌 (2001年5月14日)。Ian Fried, “Apple Slices Revenue Forecast Again”、CNET News (2000年12月6日)。リンツメイヤー (301)。米国特許商標庁、D510.577S (2005年10月11日)。

インテルはいつまで：ホール・オッターリーニ、ビル・ゲイツ、アート・レヴィンソンへのインタビュー。カールトン (436)。

報酬問題：エド・ウーラード、ジョージ・ライリー、アル・ゴア、フレッド・アンダーソン、エリック・シュミットへのインタビュー。Geoff Colvin, “The Great CEO Heist”、フォーチュン誌 (2001年6月25日)。ジョー・ノチェラ, “Weighing Jobs’s Role in a Scandal”、ニューヨークタイムズ紙 (2007年4月28日)。Deposition of Steven P. Jobs (2008年3月18日)、SEC v. Nancy Heinen、カリフォルニア州北地区連邦地方裁判所。William Barrett, “Nobody Loves Me”、フォーブス誌 (2009年5月11日)。Peter Elkind, “The Trouble with Steve Jobs”、フォーチュン誌 (2008年3月5日)。

第34章 第1ラウンド

がん：ステイーブ・ジョブズ、ローリーン・パウエル、アート・レヴィンソン、ラリー・プリリアント、ディーン・オーニッシュ、ビル・キャンベル、アンディ・グロブ、アンディ・ハーツフェルドへのインタビュー。

スタンフォード大学卒業式：ステイーブ・ジョブズ、ローリーン・パウエルへのインタビュー。ステイーブ・ジョブズ、スタンフォード大学卒業式におけるスピーチ。

50歳の獅子：マイク・スレイド、アリス・ウォーターズ、ステイーブ・ジョブズ、ティム・クック、アビー・テバニアン、ジョニー・アイブ、ジョン・ルビンシュタイン、トニー・ファデル、ジョージ・ライリー、ボノ、ウォルト・モスバーグ、ステイーブン・レヴィ、カーラ・スウィッチャーへのインタビュー。ウォルト・モスバーグとカーラ・スウィッチャー、ステイーブ・ジョブズとビル・ゲイツ、オール・シングス・デジタル会議（2007年5月30日）。ステイーブン・レヴィ、“Finally, Vista Makes Its Debut”、ニューズウィーク誌（2007年2月1日）。

第35章 iPhone

電話がかけられる iPod：アート・レヴィンソン、ステイーブ・ジョブズ、トニー・ファデル、ジョージ・ライリー、ティム・クックへのインタビュー。Frank Rose, “Battle for the Soul of the MP3 Phone”、ワイアード誌（2005年11月）。

マルチタッチ：ジョニー・アイブ、ステイーブ・ジョブズ、トニー・ファデル、ティム・クックへのインタビュー。

ゴリラガラス：ウエンデル・ウィークス、ジョン・シーリー・ブラウン、ステイーブ・ジョブズへのインタビュー。

すべてやり直し：ジョニー・アイブ、ステイーブ・ジョブズ、トニー・ファデルへのインタビュー。Fred Vogelstein, “The Untold Story”、ワイアード誌（2008年1月9日）。

発表（2007年1月10日）：ジョン・ヒューイ、ニコラス・ネグロポンテへのインタビュー。レヴ・グロスマン, “Apple’s New Calling”、タイム誌（2007年1月22日）。ステイーブ・ジョブズ、マックワールドにおけるスピーチ（2007年1月9日）。ジョン・マルコフ, “Apple Introduces Innovative Cellphone”、ニューヨークタイムズ紙（2007年1月10日）。John Heilemann, “Steve Jobs in a Box”、New York（2007年6月17日）。Janko Roettgers, “Alan Kay: With the Tablet, Apple Will Rule the World”、GigaOM（2010年1月26日）。

第36章 第2ラウンド

2008年の闘い：ステイーブ・ジョブズ、キャスリン・スミス、ビル・キャンベル、アート・レヴィンソン、アル・ゴア、ジョン・ヒューイ、アンディ・サーワー、ロ

ーリーン・パウエル、ダグ・モリス、ジミー・イオヴァインへのインタビュー。Peter Elkind, “The Trouble with Steve Jobs”, フォーチュン誌 (2008年3月5日)。ジョー・ノチェラ, “Apple’s Culture of Secrecy”, ニューヨークタイムズ紙 (2008年7月26日)。ステイブ・ジョブズ、アップル社員にあてたオープンレター (2009年1月5日および2009年1月14日)。Doron Levin, “Steve Jobs Went to Switzerland in Search of Cancer Treatment”, Fortune.com (2011年1月18日)。Yukari Kanea and Joann Lublin, “On Apple’s Board, Fewer Independent Voices”, ウォールストリートジャーナル紙 (2010年3月24日)。Micki Maynard (Micheline Maynard), ツイッターへの投稿 (2011年1月18日 2:45 p.m.)。Ryan Chittum, “The Dead Source Who Keeps on Giving”, Columbia Journalism Review (2011年1月18日)。

緊急手術: ステイブ・ジョブズ、ローリーン・パウエル、ジョージ・ライリー、Kristina Kiehl、キャスリン・スミスへのインタビュー。John LauermanとConnie Guglielmo, “Jobs Liver Transplant”, ブルームバーグニュース (2009年8月21日)。

死からの生還: ステイブ・ジョブズ、ジョージ・ライリー、ティム・クック、ジョニー・アイブ、ブライアン・ロバーツ、アンディ・ハーツフェルドへのインタビュー。

第37章 iPad

革命を起こしたいと君は言う: ステイブ・ジョブズ、フィル・シラー、ティム・クック、ジョニー・アイブ、トニー・ファデル、ポール・オットーニへのインタビュー。オール・シングス・デジタル会議 (2003年5月30日)。

発表 (2010年1月27日): ステイブ・ジョブズ、ダン・コトケへのインタビュー。ブレント・シュレンダー, “Bill Gates Joins the iPad Army of Critics”, bnet.com (2010年2月10日)。ステイブ・ジョブズ、サンフランシスコにおける基調講演 (2010年1月27日)。Nick Summers, “Instant Apple iPad Reaction”, Newsweek.com (2010年1月27日)。Adam Frucci, “Eight Things That Suck about the iPad”, ギズモード (2010年1月27日)。レヴ・グロスマン, “Do We Need the iPad?”, タイム誌 (2010年4月1日)。ダニエル・ライアンズ, “Think Really Different”, ニュースウィーク誌 (2010年3月26日)。Techmate debate, フォーチュン誌 (2010年4月12日)。Eric Lanigan, “Wozniak on the iPad”, TwiT TV (2010年4月5日)。Michael Shear, “At White House, a New Question: What’s on Your iPad?”, ワシントンポスト紙 (2010年6月7日)。マイケル・ノアー, “The Stable Boy and the iPad”, Forbes.com (2010年9月8日)。

主張する広告: ステイブ・ジョブズ、ジェイムズ・ヴァインセント、リー・クロウへのインタビュー。

デジタル世界を根底から変えたアプリ: アート・レヴィンソン、フィル・シラー、ステイブ・ジョブズ、ジョン・ドーアへのインタビュー。

出版と報道: ステイブ・ジョブズ、ジェフ・ビュークス、リック・ステンゲル、

アンディ・サーワー、ジョシュ・クイットナー、ルパート・マードックへのインタビュー。ケン・オーレッタ、“Publish or Perish”、New Yorker (2010年4月26日)。ライアン・テイト、“The Price of Crossing Steve Jobs”、ゴーカー (2010年9月30日)。

第38章 新たな戦い

グーグル——オープン対クローズド：スティーブ・ジョブズ、ビル・キャンベル、エリック・シュミット、ジョン・ドーア、ティム・クック、ビル・ゲイツへのインタビュー。John Abell, “Google’s ‘Don’t Be Evil’ Mantra Is ‘Bullshit’ ”、ワイアード誌 (2010年1月30日)。Brad StoneとMiguel Helft, “A Battle for the Future Is Getting Personal”、ニューヨークタイムズ紙 (2010年3月14日)。

Flash、アップストア、コントロール：スティーブ・ジョブズ、ビル・キャンベル、トム・フリードマン、アート・レヴィンソン、アル・ゴアへのインタビュー。リーアングー・ケイニー、“What Made Apple Freeze Out Adobe?”、ワイアード誌 (2010年7月)。ジャン・ルイ・ガセー、“The Adobe-Apple Flame War”、Monday Note (2010年4月11日)。スティーブ・ジョブズ、“Thoughts on Flash”、Apple.com (2010年4月29日)。ウォルト・モスバーグとカーラ・スウィッシャー、オール・シングス・デジタル会議におけるスティーブ・ジョブズへのインタビュー (2010年6月1日)。Robert X. Cringely (ペンネーム)、“Steve Jobs: Savior or Tyrant?”、インフォワールド誌 (2010年4月21日)。ライアン・テイト、“Steve Jobs Offers World ‘Freedom from Porn’ ”、バレーワグ (2010年5月15日)。JR Raphael, “I Want Porn”、esarcasm.com (2010年4月20日)。ジョン・スチュワート、『ザ・デイリー・ショー』 (2010年4月28日)。

アンテナゲート——デザイン対エンジニアリング：トニー・ファデル、ジョニー・アイブ、スティーブ・ジョブズ、アート・レヴィンソン、ティム・クック、レジス・マッケンナ、ビル・キャンベル、ジェイムズ・ヴィンセントへのインタビュー。Mark Gikas, “Why Consumer Reports Can’t Recommend the iPhone4”、コンシューマーレポート誌 (2010年7月12日)。マイケル・ウォルフ, “Is There Anything That Can Trip Up Steve Jobs?”、newser.com および vanityfair.com (2010年7月19日)。スコット・アダマス, “High Ground Maneuver”、dilbert.com (2010年7月19日)。

ヒア・カムズ・ザ・サン：スティーブ・ジョブズ、エディ・キュー、ジェイムズ・ヴィンセントへのインタビュー。

第39章 無限の彼方へ さあ行くぞ！

iPad2：ラリー・エリソン、スティーブ・ジョブズ、ローリーン・パウエルへのインタビュー。スティーブ・ジョブズ、iPad2発表イベントにおけるスピーチ (2011年3月2日)。

iCloud：スティーブ・ジョブズ、エディ・キューへのインタビュー。スティーブ・

ジョブズ、世界開発者会議における基調講演（2011年6月6日）。ウォルト・モスバーク、“Apple’s Mobile Me Is Far Too Flawed to Be Reliable”、ウォールストリートジャーナル紙（2008年7月23日）。アダム・ラシンスキー、“Inside Apple”、フォーチュン誌（2011年5月23日）。Richard Waters、“Apple Races to Keep Users Firmly Wrapped in Its Cloud”、フィナンシャル・タイムズ紙（2011年6月9日）。

新キャンパス：スティーブ・ジョブズ、スティーブ・ウォズニアック、アン・パウアーへのインタビュー。スティーブ・ジョブズ、クパチーノ市議会に対するプレゼンテーション（2011年6月7日）。

第40章 第3ラウンド

家族の絆：ローリーン・パウエル、エリン・ジョブズ、スティーブ・ジョブズ、キャスリン・スミス、ジェニファー・イーガンへのインタビュー。スティーブ・ジョブズからの電子メール（2010年6月8日4:55 p.m.）。ティナ・レドセからスティーブ・ジョブズ（2010年7月20日および2011年2月6日）。

オバマ大統領：デイヴィッド・アクセルロッド、スティーブ・ジョブズ、ジョン・ドーア、ローリーン・パウエル、パレリー・ジャレット、エリック・シュミット、Austan Goolsbeeへのインタビュー。

三度目の病気療養休暇（2011年）：キャスリン・スミス、スティーブ・ジョブズ、ラリー・プリリアントへのインタビュー。

ゲイツとの最後の対面、「その日が来てしまいました」：スティーブ・ジョブズ、ビル・ゲイツ、マイク・スレイドへのインタビュー。

第41章 受け継がれてゆくもの

ジョブズの功績、最後にもうひとつ……、コーダ：ジョナサン・ジットレイン、『インターネットが死ぬ日』（井口耕二訳、早川書房）。コリー・ドクトロウ、“Why I Won’t Buy an iPad”、ボインボイン（2010年4月2日）。